

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成28年3月7日 NO.98 (298)



ツバキ

2年Kさん「モンタ博士！春^{はる}を見つ^みけました！」

2年Tさん「モンタ博士！ツバキの花^{はな}を見つ^みけました！」

モンタ博士「春^{はる}を見つ^みけた！ツバキを見つ^みけた！それはよかったね。いつ、どこで？」

2年Kさん「朝^{あさ}、学校^{がっこう}に来^くるときに見つ^みけました。」

2年Tさん「きしゃぼっぽ公園^{こうえん}で見つ^みけました。」

モンタ博士「二人ともよく気^きがついたね。えらいね。ツバキの花^{はな}があっても気^きがつかない子^こもいるけど、二人は気^きがついてすごいね。春^{はる}はもうそこまで来^きてるんだね。」

2年Kさん「モンタ博士！ツバキの花^{はな}には蜜^{みつ}があつて、花^{はな}の中^{なか}に指^{ゆび}を入れてなめると、
とってもあまいんですよね。」

モンタ博士「そのとおりだよ。よく覚^{おぼ}えていたね。ツバキのことは、『国立^{くにたち}ててく3』の

NO7・8・9（207・208・209）にくわしくあるから、インターネットで、七小の学校ホームページを見てごらん。復習すると楽しいよ。」

2年Tさん「ところで、モンタ博士！このツバキ、このままだと枯れちゃいまね。どうしたらいいんですか。」

モンタ博士「そうだね。せっかくだから、お水の入ったビンに入れておくと、しばらくは、花を楽しむことができるし、春を感じることも楽しいよ。」

2年Kさん「春になると、あちこちできれいなお花が咲いて、うれしいですね。」

2年Tさん「校庭にはナノハナが、黄色い花をぽつぽつと咲かせ始めました。」

2年Kさん「廊下のサクラソウも、ピンクの花をたくさん咲かせています。」

2年Tさん「それから、春になると、いろいろな虫が顔をだして楽しいですね。」

モンタ博士「そうだね。おとといの3月5日（土）は、24節気の『啓蟄』といってね、冬ごもりしていた虫たちが、動き始めるというわけさ。くわしくは、『国立てくてく』のNO95を見るといいよ。ツバキと同じくインターネットで、七小ホームページを見てごらん。またまた勉強になるよ。」

2年Kさん「モンタ博士！春の風がふいて、陽射しもとっても明るくなりましたね。」

2年Tさん「それから、お空も冬のように透き通った感じではなくて、どこかぼんやりとかすんでいるようで、これを『春の空』というのですね。」

モンタ博士「そのとおりだね。二人ともよく気がついたね。えらいね。すばらしいね。花が咲いたり虫が動いたり、風のあたたかさにふれたり、陽射しの明るさを感じたりすることはとても大切なことなんだね。むずかしい言葉で『感性』というけど、それを国立第七小学校の子どもたちは、小さい時からたくさんたくさんもってほしいね。」

2年Kさん「はい！わかりました。春はわくわくドキドキですね。」

2年Tさん「いよいよ3月。6年生も卒業します。わたしたちは進級します。この3月はしっかりとまとめをやって、立派な3年生になります。」

モンタ博士「それはすばらしい。楽しみにしているね。またいっしょにてくてくしよう。」